

令和6年度決算 事業体系図

所属名： 商工観光課

(単位：千円)

款	項	目	事業番号	事業名	最終予算現額	決算額
2 総務費	5 統計調査費	1 統計調査費	913	基幹統計調査	3,753	2,924
			小計		3,753	2,924
6 商工費	1 商工費	2 商工振興費	210	商工業の振興	60,965	20,335
			1532	琴浦町未来人材奨学金返還支援事業	1,076	546
			1486	新型コロナウイルス感染症対策事業（緊急経済対策）	19,131	17,552
			小計		81,172	38,433
6 商工費	1 商工費	3 観光費	215	観光振興事業	22,944	21,830
			217	一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業	10,108	10,034
			407	船上山管理運営	2,387	2,338
			408	道の駅ポート赤碓運営管理	3,238	2,865
			1079	道の駅琴の浦管理運営事業	6,479	6,247
			1142	旧中井旅館管理運営事業	447	387
			1567	地域おこし協力隊活動事業（商工観光課）	3,078	2,431
小計		48,681	46,132			
6 商工費	1 商工費	4 地域振興費	25	八橋ふれあいセンター管理	1,818	1,774
			415	日韓友好交流公園管理運営	3,750	3,194
			小計		5,568	4,968
所属合計					139,174	92,457

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	913	事業名	基幹統計調査		会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	商工係		□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	5 統計調査費	目	1 統計調査費		
まちづくりビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり			① 町民に伝わる情報発信と情報共有				
	重点事業							
年度		最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度		3,753	2,924	0	2,924	0	0	0
事業の目的(なんのためか)	統計法に基づき、計画立案のための統計情報を的確に収集します。令和6年度の主な調査は「2025年農林業センサス」です。							
細事業等	内容			決算額(千円)	財源内訳			
統計調査事務費	令和6年度の主要調査である農林業センサスでは、農林業の生産・就業構造や農山村地域の基本構造に関する実態調査を実施しました。			2,924	県10/10			
合計				2,924				
事業の主な実施状況	①農林業センサスなどを実施しました。							
	調査名		金額(千円)					
2025年農林業センサス		2,794						
令和7年国勢調査調査区設定		104						
令和6年度学校基本調査		8						
令和6年度経済センサス調査区管理		6						
令和6年度統計調査員確保対策事業		12						
合計		2,924						
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】 ①調査員の高齢化により、なり手の確保が難しくなっています。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ①調査員確保対策として、町報やホームページで周知し、確保に努めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 ①令和6年度の統計調査はすべて調査員の事故もなく、期日どおり調査を終えることができました。</p>							
今後の取り組みの方向	①町報やホームページでの周知のほか、調査員の経験がある方への声かけ等により、引き続き調査員の確保に努めます。							



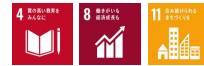
令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	210	事業名	商工業の振興			会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	商工係		□新規 ■継続			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費		目	2 商工振興費		
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				④ 地産地消の促進により地域の中で経済がまわる仕組みづくり				
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源		
令和6年度	60,965	20,335	0	2,620	7,300	6,600	3,815		
事業の目的(なんのために)	町内事業者に対して必要な施策を講じることにより、各事業者の自主的な努力を助長することで、町内の人材確保及び地域経済の活性化を図ります。								
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳		
中小企業・小規模企業振興基本計画検討委員会	基本計画の進捗状況及び第2次基本計画について協議を行い、第2次基本計画(令和7年度～令和11年度)を策定しました。					10	単町		
商工会補助金	町内企業の人材確保や経営基盤の安定を図るため、商工会への支援を行いました。 【主な事業】 ・とっとり琴浦グランサーモン試食会・WEB制作 ・中部地区高校等進路担当者意見交換会 ・地域内経済循環促進(BUYコトウラ運動、まちゼミ等)					6,500	ふるさと未来夢基金繰入金6,500		
中小企業イメージアップ推進事業補助金	人材確保の支援や町内産業の活性化を図るため、町内中小企業のイメージアップに繋がる取組に係る経費の一部を助成しました。 ・実績 3件 282千円					282	市町村創生交付金62町220		
地域経済変動対策資金利子補給事業	経済変動により影響を受けた事業者の融資に対する利子補給を実施しました。 ・令和4年度燃油及び原材料価格高騰・円安対策特別金融支援事業 9件 1,709千円 ・令和5年度エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業 19件 2,171千円 ・令和6年度エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業 2件 208千円 ・令和6年度為替相場急変動対策特別金融支援事業 7件 194千円					4,282	県1/2 町1/2		
小規模事業者経営改善資金利子補給金	町内の小規模事業者の負担軽減を図るため、「マル経資金」を借り入れた利子に対し支援しました。 ・12件 258千円					258	単町		
琴浦でスタート! 応援補助金	町内において新たに起業する個人、事業者に対し、その初期投資に係る経費の一部を助成しました。 ・起業支援事業(一般枠) 3件					820	ふるさと未来夢基金繰入金800 町20		
新事業展開・販路開拓等支援補助金	新たな顧客層の獲得に向けた商品・サービスの開発・改良やIT活用による業務効率化のための初期の調査・検証等に必要経費を補助することにより、町内事業者の新たな事業活動を支援しました。 ・実績 1件(新商品開発、広告宣伝費)					500	市町村創生交付金250町250		
事業承継・引継ぎの啓発	町内事業者へ事業承継に関するセミナーを開催し、後継者募集の案件登録を促すことにより、創業希望者等とのマッチングの増加を図りました。 ・セミナー参加者13名					336	市町村創生交付金167町169		
下伊勢大型共同作業場倉庫解体工事 【新規】	老朽化により倒壊の恐れのある敷地内北側の倉庫の解体及び解体跡地に通路を整備しました。 ・工事請負費 6,358千円 ・監理委託料等 622千円					6,980	合併特例債6,600 町380		
その他事務費等	商工街路灯維持管理経費等					367	単町		
合計						20,335			
事業の主な実施状況	①R6.8.3(日)BUYコトウラバスツアーの様子(37人参加)								

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①地域内経済循環の促進を図るため「BUYコトウラ運動」の継続的な取組が必要です。 ②国道9号沿いにある街路灯は老朽化により倒壊の危険性があるため、今後、計画的に撤去していきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①琴浦町商工会と連携し、BUYコトウラバスツアーや琴浦まちゼミなど地域内経済循環（BUYコトウラ運動）を進めました。 ②国道9号沿いにある街路灯の撤去については令和7年度に予算を繰り越して対応しています。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>①商工会を中心として事業者の自主的な努力への支援を行い、課題解決にむけて適切に事業を進めることができました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>①今後予定している地域総合整備資金（ふるさと融資）の貸付を適切に実施していきます。 ②事業主の経済的事情により、離職した者の早期再就職を図るため、対象離職者を正規雇用した事業者に対し、受入環境整備にかかる経費を助成していきます。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1532	事業名	琴浦町未来人材奨学金返還支援事業		会計区分	一般会計
担当課	商工観光課	担当係	商工係	□新規 ■継続		
予算区分	款 6 商工費	項 1 商工費	目 2 商工振興費			
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		⑥ 企業のデジタル化と多様な働き方・雇用対策の推進			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,076	546	0	0	545	0	1

事業の目的
(なんのため)
(こ) 大学等で修学した者の、県内就職または就業を促進するとともに、若者の琴浦町へのIUターン及び定住を図り、地域で活躍する人材を確保することを目的として、奨学金の返済を支援します。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
未来人材奨学金返還支援補助金	大学生等の県内就職又は就業を支援し、若者の町内への定着及び地域で活躍する人材の確保を図るため、「鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金」の対象者に奨学金の返還の一部を補助しました。 交付の状況 ・令和6年度新規申請者1人 ・令和2年度～令和6年度申請者(累計)15名内、令和6年度交付者 10名(509千円)	509	未来人材奨学金返還支援基金繰入金508 町1
未来人材奨学金返還支援基金利子積立金	基金利子積立金 37千円	37	未来人材奨学金返還支援基金利子10/10
合計		546	

琴浦町未来人材奨学金返還支援事業

奨助成金と町助成金を併用すると、最大で全額助成されます。

鳥取県内の対象業種に就職される学生・卒業生の奨学金の返還を助成します。

就職前に「鳥取県未来人材育成奨学金」の認定を受ける必要があります!

応募要件

- ①奨学金の貸与を受けており、返還の予定または返還中の者
- ②鳥取県内の対象業種に正規雇用で就職すること
- ③琴浦町に定住すること

対象業種

製造業、情報通信業、薬剤師の職域、建設業、建設IT/デジタル/土木、旅館・ホテル業、民間の保育士・幼稚園教諭の職域、農林水産業(法人または農林水産業協同組合)、障害者・美容師、歯科技工士の職域

助成金額

無利子の場合：貸与奨学金の総額×1/2
(既卒者の場合は、返還残額×1/2)
助成額の上限：当該奨学金の貸与を受けた月数×3万円

有利子の場合：貸与奨学金の総額(利子を除く)×1/4
(既卒者の場合は、利子を除く返還残額×1/4)
助成額の上限：当該奨学金の貸与を受けた月数×1.5万円

対象奨学金

- ・日本学生支援機構の奨学金(1種、2種)
- ・鳥取県育英奨学金
- ・琴浦町林原育英奨学金 他

申請方法はチラシ裏面へ ▶

担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
①本補助金が町内定住のきっかけになるよう移住定住担当課とも連携し、継続して周知を図っていく必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】
①移住定住担当課とも連携し、移住定住相談会等で制度の周知を行いました。また、二十歳のつどい等の機会を活用し、周知を図りました。

【担当課による評価の理由】
①奨学金返還を支援することにより、町内定住につながりました。

今後の取り組みの方向 ①関連制度である、鳥取県未来人材育成奨学金の対象業種拡大により、琴浦町の制度設計の見直しが必要です。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1486	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業（緊急経済対策）			会計区分	一般会計
担当課	商工観光課		担当係	商工係		□新規 ■継続	
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				④ 地産地消の促進により地域の中で経済がまわる仕組みづくり		
	重点事業						

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	19,131	17,552	0	8,769	8,783	0	0

事業の目的 (なんのために) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により打撃を受けた事業者等に対し、鳥取県地域経済変動対策資金に係る令和2～4年度の借入分の利子を負担して事業継続のための支援を行います。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給金	経営に深刻な影響を受けている事業者の借り入れた鳥取県地域経済変動対策資金に係る利子に対し補助をしました。 (ア) 融資利率 0.7% (イ) 補助内容 5年間の利子を補助 ・令和2年度借入分 200件 16,716千円 ・令和3年度借入分 20件 660千円 ・令和4年度借入分 3件 162千円	17,538	県 1/2 新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業基金繰入金 1/2
新型コロナウイルス対策特別金融支援補給事業基金利子積立金	基金利子積立金 14千円	14	新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業基金利子14
合計		17,552	

新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業

新型コロナウイルス感染症により、経営に影響を及ぼしている事業者の融資にかかる利子補給を行うもの。
鳥取県の利子補給制度に沿って、**5年間の利子補給**をする。

- 国コロナ (国対象融資) 融資実行：R3.5.31まで・・・3年間は国が利子補給、残り2年間は県と町で1/2ずつ負担
- 県コロナ (国費対象外の補完型) 融資実行：R4.5.31まで・・・国コロナより対象が広い融資 県と町で1/2ずつ負担

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
国コロナ	融資実行		利子補給 (3年間 国)			利子補給 (2年間 県1/2：町1/2)		
県コロナ	融資実行		利子補給 (5年間 県1/2：町1/2)					

担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により打撃を受けた事業者等に対し、引き続き利子補給を行い、事業継続を支援していきます。

【前年度課題についての対応及び成果】
①融資にかかる利子補給を適切に実施しました。

【担当課による評価の理由】
①経営状態が厳しい事業所が多くある中、融資にかかる負担を軽減し、事業継続を支援することができました。

今後の取り組みの方向 ①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により打撃を受けた事業者等に対し、引き続き利子補給を行い、事業継続を支援していきます。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	215	事業名	観光振興事業			会計区分	一般会計			
担当課	商工観光課		担当係	観光係		□新規 ■継続				
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費				
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			⑧ 道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大						
		重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源			
令和6年度	22,944	21,830	0	0	4,905	4,800	12,125			
事業の目的 (なんのために)	魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくりを行うため、観光施策を展開します。									
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳			
琴の浦観光案内所運営業務委託料	琴浦町の玄関口である道の駅琴の浦観光案内所の運営を町観光協会に委託し、観光情報を発信しました。					6,926	単町			
大山山麓・日野川流域観光推進協議会負担金	大山山麓・日野川流域観光推進協議会において、次の主な広域観光事業を実施しました。 ①つながるマルシェ 概要：特産品販売ブース出店などによりPRを行いました。 実施日：R6.10.26(土) 場所：える・もーる一番街「ひまわり駐車場」 来場数：約2,500人 ②酒蔵ツーリズム事業 概要：大山圏域において酒や酒蔵の知名度向上等を目指しDAISEN HAKKO PROJECT推進協議会への支援を実施しました。 ・キックオフ講演会 ・小学生向け酒蔵見学ツアー ・ALT向け酒蔵見学ツアー ・情報発信・イベント					989	過疎債900	町89		
ふるさと広域連合負担金 (広域観光連携推進事業)	鳥取中部ふるさと広域連合が鳥取中部観光推進機構に委託し、次の主な広域観光事業を実施しました。 ①6エリアスマホでスタンプラリー2024 内容：回遊性向上を目的にスタンプを集め特産品プレゼントしました。 期間：春・夏・秋 実績：春 参加者数774名 夏 参加者数928名 秋 参加者数862名 ②観光スポットへのフォトスタンド設置 内容：中部圏域で撮影スポットを設定しフォトスタンドを設置しました。 設置：鳴り石の浜					3,650	過疎債3,600	町50		
町観光協会事業費補助金	町観光協会における次の主な事業に対する支援を行いました。 ①町観光スポットPR強化事業 琴の浦おみやげクーポンキャンペーンを行いました。クーポン利用数349枚 ②PRTIMES活用情報発信事業 PRTIMESを活用した情報発信を行いました。 ・琴浦クラマー特集 2,636PV 掲載サイト74 ・琴浦おみやげクーポンPR特集 ③ことら体験型観光ととのうらクーポン割引事業 町民限定で町の観光を体験してもらうためのクーポン発行を行いました。 ・たつこの掌「金平家住宅」お料理体験 13名 ・河本家住宅「河本家の歴史にふれる」体験 29名 ・琴浦いちご観光農園いちご狩り体験 153名					623	単町			
白鳳祭運営費補助金	「火」と「食」をテーマとした白鳳祭の運営費へ補助を行いました。 ・実施日：R6.8.4(日) ・場所：東伯総合公園 ・内容：赤碕中学校吹奏楽部、ダンス、バンド、逢東盆踊り ことら音頭、レーザー花火ショー ・集客数：約5,000人 ・出店数：25店舗					4,638	ふるさと未来夢寄附金繰入金4,300	町338		
施設維持管理費等	各種施設修繕、維持管理等経費、各種団体負担金 等					5,004	過疎債300	観光支援自動販売機電気料492	鳴り石の浜公衆トイレシャワー料113	町4,099
合計						21,830				

事業の主な 実施状況	①町の観光入込客数の推移	
	R5	R6
	町の観光入込客数	84万人 88万人
事業の主な 実施状況	②辰年で賑わう神崎神社のガイドの様子	
		
	③白鳳祭（レーザーライト&花火ショー）	
		
担当課による評価		A 相当程度進展あり
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①ねんりんピックや万博へ向けた観光情報発信が必要です。 ②インバウンド対策のため、GOOGLEMAPSを活用した情報発信が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①ねんりんピックにおいて町のグルメをPRできました。 ②インバウンド対策のため、GOOGLEMAPS内の画像や文章を整理しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>①町全体の観光入込客数が増加しました。 R5:837,705人→R6:882,099人 ②観光PR商談会やPRITEMSを活用した情報発信が奏功し、神崎神社の入込客が増加しました。 神崎神社：R5：催行件数28件・延入込客数617人 → R6：催行件数514件・延入込客数14,997人</p>	
今後の取り組み の方向	<p>①町の海側を活性化させるため、道の駅ポート赤碕を拠点とした取り組みが必要です。 ②インバウンド対策のため、GOOGLEMAPSを活用した情報発信が必要です。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	217	事業名	一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業		会計区分	一般会計
担当課	商工観光課	担当係	観光係		□新規 ■継続	
予算区分	款 6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		⑨ グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズムの推進			
重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	10,108	10,034	0	236	0	4,000	5,798

事業の目的 (なんのために)	観光誘客や中山間地域の振興を図るため一向平キャンプ場等の適切な管理を行います。		
細事業等	内容	決算額 (千円)	財源内訳
中国自然歩道維持管理費	中国自然歩道の適切な管理を行いました(点検・整備等を9回実施)。	236	県 10/10
水風呂設置工事 【新規】	一向平キャンプ場に新たに常設の水風呂を設置しました。	4,400	過疎債 4,000 町 400
一向平キャンプ場指定管理委託料	指定管理者制度により、キャンプ場の管理運営を行い、民間ノウハウを活用し県内外からの誘客を行いました。 また、令和7年度からの指定管理者をプロポーザルで公募し、以降5年間の指定管理者を決定しました。	3,000	単町
施設維持管理費等	施設維持管理費、浄化槽管理費、火災保険料、修繕料 等	2,398	単町
合計		10,034	

事業の主な実施状況	①一向平キャンプ場の利用サイト数																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>39</td> <td>128</td> <td>28</td> <td>72</td> <td>75</td> <td>63</td> <td>93</td> <td>46</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>553</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>53</td> <td>98</td> <td>27</td> <td>21</td> <td>78</td> <td>44</td> <td>50</td> <td>28</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>401</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和5年度	39	128	28	72	75	63	93	46	4	0	0	5	553	令和6年度	53	98	27	21	78	44	50	28	2	0	0	0	401
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																													
令和5年度	39	128	28	72	75	63	93	46	4	0	0	5	553																														
令和6年度	53	98	27	21	78	44	50	28	2	0	0	0	401																														
②ネイチャーサウナの利用者数																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>168</td> <td>216</td> <td>207</td> <td>243</td> <td>356</td> <td>270</td> <td>231</td> <td>156</td> <td>40</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>62</td> <td>1,949</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>123</td> <td>249</td> <td>173</td> <td>173</td> <td>342</td> <td>238</td> <td>195</td> <td>132</td> <td>19</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>39</td> <td>1,683</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和5年度	168	216	207	243	356	270	231	156	40	0	0	62	1,949	令和6年度	123	249	173	173	342	238	195	132	19	0	0	39	1,683
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																														
令和5年度	168	216	207	243	356	270	231	156	40	0	0	62	1,949																														
令和6年度	123	249	173	173	342	238	195	132	19	0	0	39	1,683																														
③設置した水風呂の様子																																											

④フィンランド大使視察

R6.5.11（土）に駐日フィンランド大使であるタンヤ・ヤースケライネン氏が一向平キャンプ場の視察されました。



⑤中国自然歩道の整備

一向平キャンプ場から吊橋、大山滝を経ての大休峠まで約6.2kmの登山道の点検・整備（草刈りや倒木処理等）を9回行い、登山道利用者の安全性確保と利便性の向上に努めました。



⑥地元との交流

R6.8.13（火）一向平キャンプ場で地元中学生と連携し週末クッキングとキャンプ場内でカレー販売を実施しました。



	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 ①ネイチャーサウナとして水の良さを活かして利用者の増加を図るため、水風呂の設置を行います。	
	【前年度課題についての対応及び成果】 ①プロポーザルにより水風呂設置業者を決定し、完成した水風呂も利用者から好評を得ています。	
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 ①簡易プールの劣化や登山者から見えることなど、長年の課題であった水風呂問題が解決できました。 ②県外からの利用者が多いサウナ利用者にサ飯のパンフレットを配布し、町内への経済効果の波及を促しました。 ③キャンプ場の利用サイト数ならびにサウナ利用者数が前年比で減少した主な理由は次のとおりです。 ア 夏季や連休を中心に悪天候や台風等の影響で予約のキャンセルが多かったこと イ 燃料等の物価高に伴う近場のレジャーで余暇を過ごす方の増加したこと ウ 県内に新しいキャンプ施設が開業し利用者の選択肢が増えたこと	
	①キャンプやサウナ利用者の増加を目指し、リピート施策・水風呂の情報発信や地元客の誘客に注力することが必要です。 ②施設の老朽化に伴い、水の安定供給できる環境作りが必要です。	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	407	事業名	船上山管理運営			会計区分	一般会計
担当課	商工観光課	担当係	観光係			□新規 ■継続	
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			⑨ グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズムの推進			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	2,387	2,338	0	0	2,009	0	329

事業の目的(なんのために)	観光誘客や中山間地域の振興を図るため船上山の諸施設の適切な管理を行います。						
---------------	---------------------------------------	--	--	--	--	--	--

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
船上山登山道倒木草刈り処理・清掃作業手数料	登山道の適切な維持管理を行うことで利用者の安全性・利便性を高めました。	346	船上山万本桜公園整備基金繰入金 231 町115
万本桜復活戦略事業委託料	船上山万本桜公園内に植樹した桜の維持管理を行いました。	264	船上山万本桜公園整備基金繰入金 264
船上山トイレ維持管理費ほか	登山客等に安心して利用いただくため、船上山周辺トイレの維持管理を行いました。	1,531	ふるさと未来夢寄附金繰入金 1,500 茶園原休憩所余剰電力販売料 6 船上山さくらの里電気料金 8 町17
船上山万本桜公園駐車場芝管理委託費	駐車場周辺の芝の管理を委託し、利用者にとって快適な空間を提供しました。	197	単町
合計		2,338	

事業の主な実施状況	①さくらの里周辺の草刈りや景観整備（さくらの里・駐車場周辺の草刈り：計4回 登山道整備での倒木処理：計3回）	
	 <p style="text-align: center;">さくらの里周辺の除草作業</p>	 <p style="text-align: center;">登山道での倒木処理作業</p>

担当課による評価	A 相当程度進展あり
----------	------------

事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①琴浦アルプスの一角を担う船上山におけるアウトドア体験等をさらに推進します。 ②引き続き、民間による「さくらの里」の有効活用を模索していきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①登山道整備やさくらの里周辺の草刈り等の景観整備を通年実施しました。 ②さくらの里の活用として試験的に桜の時期の期間限定で出店をした。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>①適切な管理を行ったことで、地元を中心とした船上山さくら祭り・紅葉フェス実行委員会が組織されました。 ②船上山の観光入込客数 R5：5,152人→R6：7,461人</p>
-----------	---

今後の取り組みの方向	①桜をはじめ観光地としての魅力を損なうことのないよう、定期的な整備を継続していきます。
------------	---

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	408	事業名	道の駅ポート赤碕運営管理		会計区分	一般会計	
担当課	商工観光課		担当係	観光係		□新規 ■継続	
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			⑧ 道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	3,238	2,865	0	0	2,865	0	0
事業の目的 (なんのため に)	観光振興及び地域の活性化を図るため、道の駅ポート赤碕の適切な管理を行います。						
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳	
ポート赤碕運営負担金	施設管理費 ごみ清掃費等共同経費				2,806	ポート赤碕物産館使用料	
施設維持管理費等	消防用設備点検、火災保険等				59	ポート赤碕物産館使用料	
	合計				2,865		
事業の主な 実施状況	<p>①30周年記念「大感謝祭」の様子</p> 						
事業目的の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】 ①たご公園のリニューアルに伴い、各店舗のリニューアル等と連携したイベント実施や広報の強化を図ります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ①有限会社ポート赤碕30周年記念「大感謝祭」を開催しました。 漁協およびJ Aがふるまい企画を行い、各テナントがプレゼント企画を実施しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 ①R6.11.2(土)～11.4(月/祝)に「大感謝祭」を実施。 初日は悪天候により一部中止したが、2日間は予定通り開催し多くの来場がありました。 J A：入込客数1,300人、漁協：入込客数430人(参考：通常の日曜客数は約130人) ②道の駅ポート赤碕の観光入込客数 R5：376,862人→R6：397,209人</p>						
今後の取り組み の方向	<p>①有限会社ポート赤碕と町が連携した定期イベントや情報発信の強化が必要です。 ②海側観光の拠点施設として他の地域資源と連携した周遊観光の推進を図ります。</p>						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1079	事業名	道の駅琴の浦管理運営事業			会計区分	一般会計	
担当課	商工観光課		担当係	観光係		□新規 ■継続		
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費		目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			⑧ 道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大				
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	6,479	6,247	0	0	402	0	5,845	
事業の目的 (なんのため に)	観光振興及び地域の活性化を図るため、道の駅琴の浦の適切な管理を行います。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
琴浦 P A トイレ消耗品費	道の駅琴の浦のトイレの消耗品費					831	単町	
光熱水費	観光交流情報提供窓口の光熱水費					213	単町	
道の駅琴の浦トイレ清掃委託料	道の駅琴の浦のトイレ清掃を委託した。					4,479	単町	
物産館ことうら運営基金積立金	物産館ことうら指定管理者から、協定に基づく利益還元納付金を物産館ことうら運営基金へ積立て、今後の大規模修繕に備えた。					402	物産館ことうら利益還元納付金402	
その他経費	連結料(国交省) 各種負担金等					322	単町	
	合計					6,247		
事業の主な 実施状況	①100万人突破記念の様子							
								
事業の主な 実施状況	②3周年記念イベントの様子							
								
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 ①物産館ことうらの指定管理者が中心となり、土産物・飲食販売の強化を図ります。 ②道の駅琴の浦の観光案内所と連携した情報発信を強化します。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 ①定期的なイベント、情報発信により認知度がアップしました。							
今後の取り組み の方向	【担当課による評価の理由】 ①リニューアル以降、来場者数は増加傾向であり、安定した集客が継続しています。 ②物産館ことうらの観光入込客数 R5: 336,527人→R6: 365,354人							
	①道の駅琴の浦を玄関口に町内周遊の促進に取り組みます。 ②物産館ことうらにおいて、指定管理者を中心として土産物・飲食販売をさらに強化します。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1142	事業名	旧中井旅館管理運営事業			会計区分	一般会計									
担当課	商工観光課		担当係	観光係		□新規 ■継続										
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費										
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			⑧ 道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大												
	重点事業															
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳													
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源									
令和6年度	447	387	0	0	0	0	387									
事業の目的(なんのためか)	施設を活用して、交流人口を増やし地域経済の活性化を図ります。															
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳									
施設維持管理費	小泉八雲ゆかりの地として観光に活用するほか、地元の高齢者サークルや有志団体の活動の場としても活用しました。					387	単町									
合計						387										
事業の主な実施状況	①施設の維持管理、運営を行いました。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施設利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>887人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>754人</td> </tr> </tbody> </table>							施設利用者数		令和5年度	887人	令和6年度	754人			
	施設利用者数															
	令和5年度	887人														
令和6年度	754人															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>町内利用団体名</th> <th>利用内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八橋若衆会</td> <td>会議</td> </tr> <tr> <td>夢現の風</td> <td>展示会</td> </tr> <tr> <td>語琵琶</td> <td>紙芝居、琵琶演奏</td> </tr> <tr> <td>ハートクラブ</td> <td>認知症予防教室</td> </tr> </tbody> </table>							町内利用団体名	利用内容	八橋若衆会	会議	夢現の風	展示会	語琵琶	紙芝居、琵琶演奏	ハートクラブ	認知症予防教室
町内利用団体名	利用内容															
八橋若衆会	会議															
夢現の風	展示会															
語琵琶	紙芝居、琵琶演奏															
ハートクラブ	認知症予防教室															
②故障したエアコンの修繕を行いました。 176千円																
																
事業目的の達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない												
	【前年度の課題の概要】															
	①施設の老朽化が進み、小規模な修繕が生じています。															
	【前年度課題についての対応及び成果】															
①施設の修繕を実施しました。																
【担当課による評価の理由】																
①地域団体の活動の場として利用されました。																
今後の取り組みの方向	①施設の適切な維持管理を行います。															

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1567	事業名	地域おこし協力隊活動事業（商工観光課）		会計区分	一般会計
担当課	商工観光課	担当係	観光係		□新規 ■継続	
予算区分	款 6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	（４）魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		⑨ グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズムの推進			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	3,078	2,431	0	0	0	0	2,431

事業の目的 (なんのため に)	地域おこし協力隊制度を活用し、観光情報発信やアウトドアを通じて地域の活性化を図ります。		
細事業等	内容	決算額 (千円)	財源内訳
アウトドア 起業家	<ul style="list-style-type: none"> ・ サウナハーバルカップ大会へ参加し、優秀な成績をおさめました。 ・ 公民館事業でウイスキング等による「いやし体験」を住民の方へ広めました。 ・ 卒隊後の起業等に向けて研修を受講しました。 	947	単町
観光情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS等を活用し観光情報を発信しました。 	1,484	単町
合計		2,431	

事業の主な 実施状況	①サウナハーバルカップ プレゼンテーション部門1位&審査員特別賞をW受賞	

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ①観光情報発信の強化とアウトドアツーリズムをさらに推進します。	
	【前年度課題についての対応及び成果】 ①町内でウイスキングイベント等を開催しました。 ②サウナハーバルカップ プレゼンテーション部門1位&審査員特別賞をW受賞しました。	
今後の取り組み の方向	【担当課による評価の理由】 ①イベント開催や各地で町のPR活動を行い、資格取得や受賞等の一定の成果が見られました。	
	①地域おこし協力隊（アウトドア起業家）が令和7年4月で卒隊しました。 今後は関係人口としてイベントや地域活動へ参加してもらうこととなりました。	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	25	事業名	八橋ふれあいセンター管理		会計区分	一般会計						
担当課	商工観光課	担当係	商工係		□新規 ■継続							
予算区分	款 6 商工費	項	1 商工費		目	4 地域振興費						
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり		③ 町民主役の地域づくり									
	重点事業											
				事業費財源内訳								
年度	最終予算額	決算額	国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源					
令和6年度	1,818	1,774	0	0	0	0	1,774					
事業の目的 (なんのために)	地域住民の交流等を図るため、維持管理を行います。											
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳						
消防設備修繕	非常警報設備、非常誘導灯等の修繕を行いました。				383	単町						
八橋ふれあいセンター指定管理委託料	地域住民の交流を図るため、駅トイレの清掃、施設の運営などの維持管理を行いました。				755	単町						
施設維持管理費	火災保険料・消防設備保守委託料等				636	単町						
合計					1,774							
事業の主な実施状況	①八橋ふれあいセンター指定管理委託料 755千円 指定管理者制度により、施設の適切な維持管理運営を行いました。 指定管理者：やばせ振興会 業務内容：施設・備品等の維持管理、施設内外の清掃、施設利用申請の受付、許可等の事務											
	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">施設利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3,222人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>2,922人</td> </tr> </tbody> </table>							施設利用者数		令和5年度	3,222人	令和6年度
施設利用者数												
令和5年度	3,222人											
令和6年度	2,922人											
	②非常警報設備、非常誘導灯等の修繕 383千円 老朽化した非常警報設備、非常誘導灯等の修繕を行いました。											
	担当課による評価			B 進捗が大きくない								
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 ①施設の老朽化が進み、小規模な修繕が生じています。											
	【前年度課題についての対応及び成果】 ①修繕を行い、施設の維持に努めました。											
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 ①地域住民が継続的に利用されており、地域住民の交流の場となっています。											
	①八橋地域の振興拠点として引き続き施設の利用促進を図ります。											

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	415	事業名	日韓友好交流公園管理運営			会計区分	一般会計	
担当課	商工観光課		担当係	商工係		□新規 ■継続		
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費		目	4 地域振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				④ 地産地消の促進により地域の中で経済がまわる仕組みづくり			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	3,750	3,194	0	0	0	0	3,194	
事業の目的 (なんのために)	資料館の展示物等を通して韓国との交流の歴史などを広く知っていただくことで韓国との友好を深めるきっかけとします。また、公園は町民や観光客の憩いの場、ふれあいの場として利用していただきます。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
施設維持管理費	公園管理費、光熱水費金等					3,194	単町	
合計						3,194		
事業の主な実施状況	①日韓友好交流公園芝管理委託料 1,452千円 交流公園内の芝、植栽の管理を適切に行いました。							
								
事業目的の達成状況	②日韓友好交流公園「揺れ石」修繕 451千円 つなぎ目が破損していた揺れ石の修繕を行いました。							
								
今後の取り組みの方向	担当課による評価					B 進展が大きくない		
	【前年度の課題の概要】 ①リピーターの獲得に向け、情報発信を強化します。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 ①韓国物産館が閉店した影響もあり、来場者数が減少しています。 R5 : 5,610人 → R6 : 5,274人							
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 ①揺れ石修繕や、資料館・公園の管理など、施設の維持管理に努めました。 ②エアソウル再開に伴い、観光バス会社へPRを行った。 ③今後の施設の利活用に向けて、海側観光の拠点施設となることを模索しました。							
	①施設の適切な維持管理を行います。 ②海側の地域交流・観光拠点施設としてリニューアルすることが必要です。							